

## 中心市街地活性化調査特別委員会

七月二日開催

### エスプラッツについて

〔質問〕 アスタラビスタ佐賀店だけにお金をかけるのは、ほかにも赤字経営の商店などがたくさんある中で、公平性が保てないと思うがどうか。

〔答弁〕 今回、賃料減額の継続をお願いしているが、赤

字が出ているから延ばすということだけでなく、アスタラビスタと専門家も含めた話の中で、急激な改善は難しいということであるので、とにかくこの一年間は、一緒に努力して経営を改善していきたい。



エスプラッツ（白山2丁目）

## 市立病院等調査特別委員会

七月二日開催

### 地元代表者との意見交換について

〔説明〕 富士大和温泉病院に対する意見を聞くため、地元代表者を招いて意見交換会を実施した。地元代表者からは、病院の存続について強く要望された。

### ※4 TMO佐賀について

〔質問〕 法人になると今後、利益をある程度出さないといけないと思うが、家賃や人件費などはどのように捻出するのか。

〔答弁〕 現状でも、えびす駐車場やえびす駐車券事業で収益があり、自動販売機事業など収益を生みそうな事業について取り入れるよう指導していきたい。

# 特別委員会

八月四日開催

### TMO佐賀との意見交換会について

〔説明〕 エスプラッツギャラリーにおいて、フリートーキング形式で活発な意見交換を行った。

### 調査報告書

① エスプラッツについては、「街づくり基点施設」として、今後も県、市、TMO、地元の商店街等が一

八月に内科の医師が入院し、その後亡くなられた。十二月までは週三日の午前中のみ

### 富士大和温泉病院及び三瀬診療所の平成二十年度業務状況について

八月六日開催

〔説明〕 富士大和温泉病院について、入院患者は減少したが、外来の受診者は前年度に比べて増加した。地域住民との交流を行ってきたことや標準的算定日数を超えたりハビリティシヨンの実施が可能になったことの影響が大きい。

三瀬診療所については、



三瀬診療所（三瀬村）

の代診で対応したが、その影響で受診者数は前年度

緒になって事業展開を図るとともに人が集まる工夫を行っていくべきである②白山地区については、エスプラッツと玉屋を結ぶ中心核エリアとして、まちづくり

に重要な場所であることを認識し、取り組みを行うべきである③呉服町地区のアーケード撤去後の道路の利用形態については、地元の意向を尊重し、市は調整役として話し合いを行う必要がある④歴史的に価値の

に比べ落ち込んだ。

### 調査報告書

今後の市立病院等の運営に当たって取り組むべき事項を次のとおりまとめた。

- ① 法が認める一般会計の負担する経費を明確にした上で適切な負担とし、経営形態のあり方の検討も進めていくべきである② 関係機関との情報交換や医師等の公募の導入等を行い、医師、

ある資料を多く收藏する徴古館については、鍋島家の膨大で重要な文化財の調査・整理に対し、市が積極的にバックアップする必要がある。また、周辺整備については、市で初めての歴史公園という位置づけのもと、人が集うような特色のある公園整備を進める必要がある。

看護師の確保を図るべきである。なお、国等の関係機関に対して意見書等を提出して、医師の計画的な育成等を要望していくべきである③他の医療機関との連携を強化し、医療体制及びネットワークのさらなる充実を図るべきである④地域住民との交流を充実するとともに、市民ボランティア等を活用して、地域に根ざした病院づくりを心掛けるべきである⑤施設のゆとり

空間を活用し、地域住民の交流空間として活用するとともに、国民保養温泉地である利点を生かし、温泉資源を活用した取り組みを行うっていくべきである。旧共立病院の利活用について、第一病棟は解体、第二病棟は改修して文化財倉庫として活用する。第一病棟解体後の跡地を含めた残敷地は多目的広場及び駐車場とし、あわせて景観整備を実施することになった。

を

※4 TMO：商業地の活性化（タウンマネジメント）を行う機関の略称。タウンマネジメントオーガナイゼーション。

## 人口問題 調査特別委員会

七月七日開催

### 中山間地での意見交換

〔主な意見〕 イノシシ被害

は防護のみでなく捕獲したイノシシ肉を商いとして確立。移住者が地域に溶け込めるか疑問。移住希望者と地域との仲介機能は公的機関が担うべき。古湯・熊の川温泉のぬる湯がいやしの

湯として定着。富士の七草、イノシシ料理、虫観賞等、地元の伝統・資源の活用や継承に取り組むことなど。



猪肉加工センター (大和町)

八月六日開催

### 執行部からの報告

〔説明〕 人口問題について、

## 議会広報 調査特別委員会

### 調査報告書

当委員会は平成十七年十二月二十日市議会において議会広報に関する諸種調査について付託され、議会だよりの編集、発行及び議会広報のあり方等について取り組んだ。議会だよりについては、市報との区別化を意識しながら、定例会の内

容を中心に編集に当たった。特に読みやすさを考慮して文字を大きくし、一般質問についても質問者の顔写真掲載、質問日別の掲載等、市民にわかりやすく、関心を持つてもらえる広報紙作成に努めた。また合併によって市域が広くなり、本庁舎で行われる本会議を傍聴することが困難となった市民に対応するためインターネット動画配信を実施した。今後さらに、開かれ

# 特別委員会

これまでの活動報告、今後の取り組み、佐賀市人口問題報告書(仮称)の作成について報告を受けた。

〔質問〕 人口問題に対する特別な対策がない。限られた予算をいくら配分し、人口問題に取り組むのか。

〔答弁〕 今後は個別事業に着手していかなければならないと考えている。限られた予算の中で、どのような個別事業を行うかを検討し、

必要予算は措置したい。七月二十四日、八月六日、九月九日開催  
調査報告書の作成について、委員間討議を行った。

### 調査報告書

①「地域の暮らし」定住人口が減少し高齢化が進行する中、地域コミュニティや農地維持が困難。住民の健康や生活の安定を確保するとともに、安心し

た議会を目指して議会の情報を積極的に伝えていく必要があり、先進都市等の調査等を踏まえ、次の結論に達した。①今後、地方分権が進むにつれ地方議会の重要性が増し、その独立性が求められるようになる。厳しい財政状況ではあるが、紙面の効率化を図りながら、引き続き市民にわかりやすい議会だよりを発行していくべきである②情報技術の

発達に伴い、多くの情報伝達手段が確立されている。本市議会においても、インターネット環境等の進化に対応し、市民の声を直接聞く取り組みや議会の議事過程を市民に明らかにしていくシステムを構築するなど、さらなる議会広報の充実に努めていくべきである③本議会は、市民との協調のもと、市民を代表する機関の一つとして自らの創意と工

て子どもを生き育てられる環境整備を②「定住促進」少子高齢化が進行する中、地域活性化のためにはUJイターナーの誘導促進対策や若年層に対する住宅確保、地元への就労支援等の流出防止策、住宅整備や空き家の活用等、地域の受入れや仲介体制を③「地域振興」自主性の確保やリーダーの存在が大きな原動力。取り組み事業の差別化、採算性の確保、ネットワーク化に

よるスキルアップを。交流を通じた地域資源の再発見は地域の新たな魅力④「都市との交流」交流人口の増加が地域意識や活動の変革に多大な影響。既存イベントのネットワーク化、グリーンツーリズムとの連携情報媒体を活用し、人的・物的交流を活性化。団塊の世代や若年層等移住者予備軍へ効果的な情報発信を。

夫により政策立案及び政策提言を行うとともに、積極的に議会改革に取り組み、真の地方自治の実現を目指すことを決意し、全会一致で議会基本条例を可決した。この条例に謳うとおり、議会は市民に対し議会の活動に関する情報公開を徹底するとともに、市民に対する説明責任を十分に果たし、また、議会独自の視点から、多様な広報手段を活用して、多くの市民が議会及び市政

に関心を持つよう市政に係る情報の広報に努めていくべきである。





# 特別委員会

## 企業会計 決算特別委員会

平成二十年度の企業会計決算議案を審査するために、平成二十一年八月三十一日に設置し、九月一日・二日の両日にわたり審査を行いました。（定数十一名）

- ◎堤 正之
- 古賀 種文
- 野口 保信
- 山口 弘展
- 中野 茂康
- 永測 利己
- 中山 重俊
- 重田 音彦
- 森 裕一
- 井上 雅子
- 片測 時汎

◎は委員長、○は副委員長

### 自動車運送事業会計 決算について

〔質問〕十九年度に黒字化した事業収支が二十年度に赤字となった。この原因をどう考えているのか。

〔答弁〕二十年度は約千百万円の損失を計上したが、燃料費の高騰による影響額がほぼ同額であった。燃料費の高騰の影響がなければ収支均衡が図れたのではないかと考える。

〔質問〕今後の増収策をどう考えているのか。

〔答弁〕増収策として、「一便一増運動」を掲げている。一日に平均七百便のバスを運行するが、各便にあと一人乗車してもらえれば約五千万円の増収になる。とにかく「あと一人、あと一人」ということで、いろんな集会等で呼びかけを行い、利用者増につなげていきたい

と考えている。

### 市立富士大和温泉病院 事業会計決算について

〔質問〕二十年度、外来患者は増加したが、入院患者は病床利用率が七四・二％と落ち込んだ。この対応は。

〔答弁〕例年、秋口から冬にかけて病床利用率が上昇していくが、二十年度は伸びなかった。この病床利用率を上げるために佐賀大学及び当院の診療圏で開設する診療所との連携を強めて入院患者を増やしていきたい。

〔質問〕平成十四年の新築移転以降、高度医療機器の更新が見送られているようだ。入院患者増や検査体制を充実するためには、新しい機器への更新等が必要なのではないか。

〔答弁〕通常、高度先進医療機器は耐用年数が約六年である。当初、購入した機器

が耐用年数を迎える時期だが、他の医療機関でも耐用年数の約二倍の年数で使用されている。医療機器等のメンテナンスを適正に行い、延命化を図りながら、減価償却費の圧縮に努めていきたい。また、同時に当院の診療圏内にある診療所との連携を強め、高度先進医療機器等の稼働率を積極的に上げていきたい。

〔審査結果〕すべての議案について、認定すべきものと決定。



富士大和温泉病院（富士町）

## 視察報告

### 文教福祉委員会

日程 4月5日(日)～7日(火)

#### ①埼玉県東松山市

##### 障がい福祉の推進について

障害者手帳を持つ障がい者だけでなく、ハンディキャップ状態にあるすべての人を支援することを基本理念とされています。また、ともに生きる社会づくりのため、障がい者のための特別な場ではなく、一般社会の中での支援への転換を目指し、「ユニバーサルな支援の仕組みづくり」を推進されています。

##### 【所見】

障がいのある人とそうでない人を分けてしまうと支援の一元化はできません。本人の障がいが変わらなくても、周りの環境が変われば社会に参加することができます。障がいのある人が生活するためには何が必要なのかを考えることが重要です。

#### ②茨城県石岡市

##### 学校給食の取り組み（学校給食センター）について

旧センターが老朽化し、手狭になったため、平成19年9月に移転・新築されました。調理場はドライシステムで最大5,000食/日の能力があります。旧石岡市内の小中学校13校分の給食を調理しており、鉄骨造2階建て（延床面積2,425平方メートル）で、総工費は約13億3,000万円です。

##### 【所見】

佐賀市でも新たに給食センターを建設予定です。石岡市でも問題を抱えながら給食センターを建設し、運営されているようです。今回の研修結果を佐賀市の給食センター建設に活かしていきたいと思えます。